

て日々進化しております。

少し具体的にお話させていただきますと、ヒト試験の測定日は大きく分けますと以下の2つの行程で成り立っています。

①スクリーニング（被験者抽出用の測定）

②本試験（有効性・安全性評価用の測定）

1つめの行程【①スクリーニング（被験者抽出用の測定）】は、有効性・安全性評価用の測定（本試験）のために行います。

たとえばコレステロールの試験なら、各種コレステロール・体脂肪・その他の血液項目・病歴がこれぐらいの範囲・内容の方で試験をした方が良くと入念に計画を立て、その範囲に当てはまるであろう被験者さんを実際に測定して抽出します。

統括医の先生の話では「その試験の被験者さんとしての確かさどうか見極めるに重点を置いてじっくりと問診をしている。その上、被験者さんとも色々とお話を聞くなどをこまめにコミュニケーションも重要視している。それが試験内容を理解し正確にご協力をしていただく被験者さん、つまり質の良い試験を成立させるための被験者さんを抽出する秘訣。」との事です。

スタッフも、被験者候補の皆様は試験の目的・意味・気を付けていた

だきたい項目を文章・ビデオ・イラストを使い正確に説明し、被験者さんの「協力しよう」というお気持ちに対し感謝の気持ちを込めて一挙一動に気を付けて行動しております。

2つめの行程【②本試験（有効性・安全性評価用の測定）】は、名前の通り試験の本番です。①で入念に抽出した被験者さんのご協力のもと、正確な有効性・安全性を摂取・塗布・測定によって評価していきます。統括医の先生の話では「試験によって生じた有害事象がないかにも重点を置いてじっくりと問診をしている。」との事です。

スタッフも一挙一動に気を付けております。被験者さんへの対応で【使う言葉・かもしだす雰囲気】【ただでなく、【使っていない言葉・かもしだしてはいけない雰囲気（NGワード・NG雰囲気）】など綿密に決めてあります。じっくりかき使ってはいけない言葉をアドリブで言ってしまうものなら被験者さんの協力にゆとり得られたデータの信頼性・正確性が欠けてしまう悲劇が生じる可能性があります。そのため、NGワード・NG雰囲気には細心の注意を払っております。

このNGワード・NG雰囲気の例をあげますと、たとえば「ダイエットの試験で被験者さんからの」「自分が痩せていった・痩せていって」「という言葉に」「それですね。（同調）」「いいえ（否定）」「という言葉・雰

困気を出してしまおうものなら、被験者さんが『日常生活のリズムを変えないでくださいという約束だったね。』と分かっている段階を使う頻度が無意識に増えたり、食事で無意識にダイエットに適したものを選んでしまい体重が減る可能性があります。他にもたとえば血圧の試験で「お約束の来院時間を守ってくださいね。」という言葉・雰囲気を出してしまおうものなら、被験者さんが『少し焦ったり、早歩きするだけで血圧が上がるといから、平穏な心で測定会場に向かう約束だったね。だから、この交通渋滞でも気にしなくても大丈夫。』と分かっている、無意識で遅刻への罪悪感によりドキドキして血圧が上がってしまう可能性が生じます。このように、被験者さんの「協力しよう」と思ってくださる気持ちも、NGワード・NG雰囲気と無駄になってしまいう危険がありますので要注意なのです。

このように、誤った一挙一動が未来(試験結果)を悪しき方向に曲げてしまい、試験結果が事実と違うものになってしまつというリスクを含んでおります。沈黙は金なりと言いますが、被験者さんのご厚意への感謝の気持ちを大切にしたいので「必要事項だけお伝えし、後は黙っていい。」というものは絶対にしていただくべきではありません。

そこで弊社は、誤った一挙一動が未来(試験結果)を悪く変えてしまう事を恐れるのではなく、試験を公平・正確に行うための一挙一動のノウハウにより精度・再現性の高い未来(試験結果)に近づけて行くのだという気構えで日々試験を行っております。

■初めての白衣。

会社のロッカーの整理をしていたら、学生時代の白衣が出てきました。私は学部(近畿大学農学部)の4年間、エロプロジェクトというサークルで農学系の技術で環境に対して出来る事の勉強会・畑作業・山登り・自転車旅行などを楽しんでおりました。そのサークル活動の時には面白おかしくて楽しい雰囲気先輩達が、部活以外の時に大学の廊下を白衣姿で真剣な表情で歩いている姿を見て「すごく格好いい。」と思った大1年生の時の記憶が今も忘れられません。その後、学科や研究室が違うサークル仲間の同級生や先輩まで白衣で歩くようになってきて「やはり格好いい。そして、うらやましい。早く私も着る必要が生じないだろうか。」とも思っております。

今になってよく考えると白衣は清潔を保つ目的の道具であり、着用している姿形を見て【うらやましい】【】と思つのは変な話。でも、当時の私は白衣にあこがれがあり、大阪日本橋の道具屋筋という色々な道具が揃っ

ている商店街に行った時に白衣コーナーを探したり(コックさん用の調理白衣しか無かった。)、研究機器カタログで白衣のページを何度も読み返しておりました。

そしていよいよ大学4年生の春、担当教官のネルソン先生との研究打合せの時に、今後は神経毒やら発癌性物質を扱うから白衣が必要ですねという話題が出てきました。「やったー」という心を抑えて落ち着いた雰囲気でお勧めの白衣メーカーとかが有りますか?」と先生に伺ったところ、おもむろに実験機の引き出しから畳んである白衣を取り出され「私のお古ですが、あげます。」「とプレゼントしてくださいました。とても嬉しかったです。

大喜びで袖を通したら、同じ研究室の仲間が大爆笑。袖口にゴムが入っていてギュッと絞られる構造により、薬剤等に触れて汚ってしまったら、試験管に当たって倒してしまふ事の予防ですね。使い込まれて柔らかくなった生地のおかげで、動きやすさへ肩せこららない。

．．．でも私が着ると「割烹着にみえる。」「との事。

試しに仲間が着てみたが、格好いい。私、嫉妬。

その後も研究室の誰が見ても割烹着に見えると言つので、大学の廊下を

白衣でさっそうと歩く夢は叶えませんでした。自粛。

【news】5月に行われました展示会「ifia(アイフィア)・HFE・ヘルスフードエキスポ」のJNC(チッソ)株式会社様の展示ブースにて弊社が受託しました試験の結果をパネル展示していただきました。お使いいただき、ありがとうございます。

【news】月刊フードスタイル21(5月号)の記事『就寝時に掻いた首の数を数値化』にて弊社をご紹介いただきました。ご掲載いただき、ありがとうございます。

【news】健康産業新聞(5/18号)の特集記事『食品受託試験』にて弊社をご紹介いただきました。ご掲載いただき、ありがとうございます。

【news】本年もインターフェックスジャパンに出展いたします。皆様のご来場を心からお待ちいたしております。東京ビックサイト6/29(水)〜7/1(金) 東5ホール ブース番号090136

回覧・印				

最後のページまでお読みいただき、ありがとうございます。差し支えが無ければ回覧いただけると幸いです。